

もうすぐ大人の音

一宮南部小・6 加藤 眞子

「ピッ」

「ピッ」

次は私の番だ。

「ピョピョ」

私の後ろはお母さんだ。

「ピッ」

前にいたお父さんが、

「いつ聞いても可愛い音だねえ。」

と言う。この「ピョピョ」という音を私は最近気に入っていない。

保育園の時に手にしたそのカードは、小学校卒業まで使える。つい最近までは、豊川駅や豊橋の市電、旅行で行った東京や大阪の地下鉄、路線バスで使っても何も思わなかった。むしろ大人の人の同じようにタッチするだけでゲートが開いたり、運転手さんに「どうぞ」と言ってもらえたりすることが、何だかとてもうれしかった。

でも最近、このカードをタッチしたときの「ピョピョ」という音が、

「私は子供です。」

と言っているみたいで、何だか変な感じがする。

四月から六年生になり、入学してきた一年生の子とペアになった。その子は、私が放課に一年生の教室に行ったり外で遊んでいたりと

ると、すぐにかき寄ってきついできたり、

「いっしょに遊ぼう。」

と言ったりしてくる。一年生なので、とても小さくて可愛らしい。自分がとてもお姉さんになっていると感じる。私も一年生のころ六年生のお姉さんたちにたくさん遊んでもらっていたと思う。そう考えると、六年生の自分がもう子供ではないと思えてくる。実際、改札で「ピョピョ」と鳴るあのカードも、あと少しの期間しか使えない。中学生になれば大人と同じように「ピッ」と鳴るカードになるのだから。

私はもうすぐ十二才になる。大人(成人)は二十才からだだったが、最近それが十八才に下げられたと聞いた。あと六年で私は大人になる。まだまだ先のような気もするし、すぐになってしまいたいような気もする。早く大人になってみたい気もするし、まだまだ子供でいたい気もする。でも私は最近自分が子供あつかいされることに腹が立つようになっていた。

例えば、食事のときも焼き魚が半分だったり。

— 多分一匹食べられる —

外食したときも子供用の取り皿を勝手にたのまれたり。

— なくてもだいたいようぶなのに —

自分のおこづかいの使い方をあれこれ注意されたり。

— 欲しいものを自分のお金で買っているだけなのに —

何かと自分の思っていることや、やりたいことについて親から言われる。

子供から大人になるということはどういうことなのだろう。

お母さんは、

「色々自分で考えて、周りを見て行動することが多くなっていくこと。でもその前に親の言うことを聞かなくなったり、反こうしたりする期間がある。」

と教えてくれた。

お父さんは、

「色々なことに責任をもつこと。」

と言った。

両方とも分かる。でも私にはできていないことが多い。お母さんの言うことに対して、聞かなかつたり、反こうしたりすることばかり増えている。でもこれは、大人に近づいていることでもある。十八才になると選挙にも行って投票することができるようになる。社会の授業で習ったとき、私は「十八才になったら、なるべく豊川市のためになるように選挙に必ず行きたいと思いました。」と自分の考えを書いた。七月にあった参議院の選挙では、少し興味をもってテレビのニュースを見たけれど、立候補している人の話を聞いても分からないことばかりですぐにあきてしまった。こういうことも理解できるようにならないと大人とは言えない。

お父さんはよく、

「真子の仕事は元氣よく小学校に行くこと。」

と言う。大人になれば毎日仕事をするようになる。これは、国民の義務であることも習った。お父さんもお母さんも毎日仕事をしている。色々な税金を納めているそうだ。これだけでも大人は大変そう。買物すれば消費税ははらうけれど、私に義務はまだない。

おじいちゃんとおばあちゃんは、私が休みの前の日になるとよく、「真子ちゃん明日から休みでいいね。」

と言う。私がおじいちゃんとおばあちゃんに、

「おじいちゃんとおばあちゃんは休みじゃないの。」

と聞くと、

「じいちゃんとおばあちゃんは、毎日が日曜日だよ。」

と言う。

おじいちゃんもおばあちゃんも今はもう仕事をしていない。でもそれまでは、二人とも仕事をしていた。大人になるということは、働いて税金を納め生活していくということでもあると思う。こう考えると、まだまだ小学校に通って、友達と遊んだり、色々な教科の授業を受けたりしている方が楽しそうに思えてくる。

夏休みに入った。今日は、お父さんとお母さんと三人で名古屋に買い物に行った。今日は、カードではなくきつぷを入れたけれど、やっぱりいつもの「ピヨピヨ」が聞こえてきた。あと数か月でこの音も聞こえなくなる。お母さんは、

「もう少しの間、子供料金だとありがたいんだけど。」

なんて言っている。でも、私はやっぱり早く大人になりたい。

「ピヨピヨ」

ではなく、

「ピッ」

が似合う大人に。